



2015/2/1 厚生館保育園

2月4日は立春です。立春には「春」という文字が使われているので、暖かい春を想像しがちですが、この日の前日にあたる「節分」は一般的に「寒さのピーク」とされています。まだまだ寒い毎日ですが、暖かくなり始めるという節目としての立春。新年度には少し早いですが、新たな目標を決める、よい節目なのかもしれませんね。

1月に入り、ひよこ組でインフルエンザAに罹る子が5名出ました。ほぼ予防接種をしているので、症状も軽くすんでいるようです。

・ ・ ・ 今からでも遅くない予防注射！！

ワクチンを受けているか否かで、合併症罹患率は減ります。

インフルエンザには中耳炎、熱性けいれんなどの合併症があります。インフルエンザ合併症の中で最も気をつけたいのが、インフルエンザ脳症です。

インフルエンザ脳症の危険性、原因

インフルエンザ脳症は、インフルエンザによって起こる免疫異常。インフルエンザウイルスそのものが脳に入り込むわけではなく、ウイルスに対抗しようとした体内の免疫がオーバーワークし、脳の組織を破壊してしまう病気です。主に5歳以下の子どもに発症します。インフルエンザに罹った時に、急速に進行するのが特徴で、適切な治療で約70%は問題なく回復しますが、死亡率も後遺症が残る確立も高い病気です。

インフルエンザ脳症の症状

- ・ 高熱（多くは38℃以上）
- ・ 咳、鼻水、全身の倦怠感、のどの痛み、関節痛
- ・ けいれん
- ・ 意識がなくなる意識障害
- ・ おびえ、恐怖、幻覚、幻視、突然大声を出す、うわ言を言ったり突然怒り出したりする異常行動



インフルエンザ脳症は、発熱してから48時間以内に起こります。通常のインフルエンザに見られない症状がないか注意する必要があります。異常行動が必ずしも脳症が起きている証拠とは限りませんが、直ちに医療機関を受診することを勧めます。

インフルエンザ脳症の予防法

手洗い、うがい、人ごみを避けることはインフルエンザ三原則ですが、ワクチンの予防接種があります。

現在のワクチンには、A ソ連型、A 香港型、B 型の 3 種類のインフルエンザウイルスが含まれています。ワクチンの型は、毎年、少しずつ変わります。流行するタイプに近い型を予想してワクチンが製造されますが、その予想が最近、非常によくあたるので、予防接種は効果が高い予防法といえます。

子どもの場合は、発症予防という点では効果が低いのですが、肺炎、脳症などの合併症を防ぐ意味ではワクチンをしたほうがいいでしょう。

・・・以上インターネットからの検索

高熱に注意!

よう れん きん かん せん しょう
溶連菌感染症

突然高熱の出る、非常に感染力の強い病気です。
下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

症状

- 突然高熱が出て、のどがはれて痛みが出る
- 全身に発しんが出る
- 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
- おう吐、頭痛が起こる

注意!

症状が落ち着いたからと薬をやめると、腎炎などになる危険が。医師の指示どおり最後まで飲みましょう。


注意!

抗菌薬を飲んでから 24～48 時間は登園停止です。



よう れん きん かん せん しょう
**溶連菌感染症は
治った後も検査を受けて**

溶連菌感染症は、突然の高熱、のどの真っ赤なはれ、かゆみのある発しんが全身に広がるなどの症状が出ます。抗菌薬を飲めば治りますが、大切なのは、症状が治まった 10 日～2 週間後に 1 回、さらに 1 か月後に 1 回、尿検査を受けること。「急性糸球体腎炎」などの合併症を起していないか確認するためです。忘れずに受診しましょう。



2 月保健行事

- 3 日 (火) 身体測定 (2～5 才児)
- 5 日 (木) 身体測定 (0,1 才児)
- 6 日 (金) 地域身体測定
- 13 日 (金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 16 日 (月) 地域・0 才児健診
- 20 日 (金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 27 日 (金) 地域ベビーマッサージ・育児相談